11 Ⓕ（登録）を押す。

データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。

- データフォルダ内のメモリが一杯のときは、空き容量不足の確認メッセージが表示され、操作９の画面に戻ります。

フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるとき

- ファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、AA～ZZ）が付加されます。

アニメーションを確認する

1 ⓞ③の順に押す。

2 「アニメーション」フォルダを選び、Ⓕを押す。

■ SDメモリカード内のアニメーションの確認：Ⓜ（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡Ⓕ（☞P.10-6）

■ データフォルダの操作：☞P.11-9

3 確認するアニメーションを選び、Ⓕ（再生）を押す。

選んだアニメーションが再生されます。再生中にⓞ（**戻る**）を押すと、停止し、操作２の画面に戻ります。

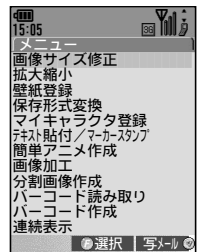
4 確認を終わるときは、Ⓟを押す。

- アニメーションファイルのコピー／移動／消去／ファイル名の変更は、P.11-50～P.11-52を参照してください。

画像／アニメーションファイルの利用

データフォルダの画像やアニメーションファイルに対して、各種操作を行います。

P.11-24～P.11-39の各操作は、データフォルダ画面で対象のファイルを選びⓂ（**メニュー**）を押したあとの画面（メニュー画面）から操作します。

- ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なる場合があります。
- 画像やアニメーションを編集して保存するときに、データフォルダのメモリが一杯のときは、空き容量不足の確認メッセージが表示されます。不要なファイルを消去するときは、P.11-51を参照してください。

メニュー画面（画像の場合）

画像を拡大／縮小する

●画像の拡大／縮小は、画面の中心を基点にして行います。

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「拡大縮小」を選び、Ⓕを押す。

リサイズ（拡大／縮小）モードになります。

●「**拡大縮小**」が選択できない画像の場合、操作できません。

●画像表示中に◎（**リサイズ**）を押しても、リサイズ（**拡大／縮小**）モードになります。

●ディスプレイ下部左に「**移動**」が表示されていることを確認してください。表示されていないときは、◎（**リサイズ**）を押します。

拡大／縮小の中心を指定（画像を移動）するとき（移動モード）

●◎（**移動**）を押します。ディスプレイ下部の左に「**リサイズ**」が表示され、移動モードになります。

●このあと◈を押し続けて、拡大／縮小する場合の中心となる位置を、画面の中央部に移動します。

●ボタンを押している間、画像が移動します。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上移動できない位置まで移動すると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

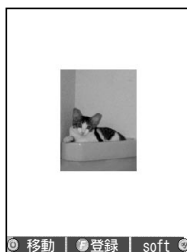
データ管理

2 ◎（拡大）または◎（縮小）を押し続けて、画像のサイズを変更する。

●ボタンを押している間、画像が拡大／縮小されます。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上拡大／縮小できないサイズになると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

■ 画像をなめらかにする：Ⓥ（soft）

●拡大により画面からはみ出した（表示されていない）部分は、登　時に自動的に消去されます。

●拡大／縮小後に、◎（**移動**）を押し移動モードにしたときは、拡大／縮小した結果は破棄され、元の大きさに戻ります。

3 変更が終われば、Ⓕ（登録）を押す。

サイズ変更した画像は、新しい画像としてデータフォルダに登　されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

画像サイズを変更する

壁紙用や着信時表示用などのサイズに変更します。

●固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出すことができます。

●画像サイズを変更すると、画像のデータサイズも変更されます。メールに画像を添付するときなどにも便利です。

固定サイズに変更する

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「画像サイズ修正」を選び、Ⓕを押す。

●「**画像サイズ修正**」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 「1壁紙用」～「6アラーム時表示用」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。（利用できない画像は表示されません。）

●画像サイズが大きい場合、エラーが表示され、画像を表示できないことがあります。

●各サイズについては以下のとおりです。

サイズ	ドット数
1壁紙用	横240　縦320ドット
2写メール用	横120　縦160ドット
3サブディスプレイ用※	横64　縦96ドット
4パワー ON/OFF用※	横120　縦130ドット
5着信時表示用※	横120　縦38ドット
6アラーム時表示用※	横120　縦51ドット

※このあと、サイズを変更した画像をマイキャラクタのオリジナルに設定すると、元のサイズが自動的に２倍となって表示されます。

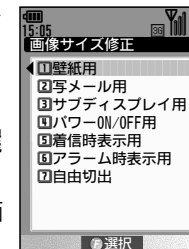
■ 画像サイズの選択のやり直し：Ⓥ（**サイズ**）

3 画像の表示範囲を指定するとき

1 ◎（移動）を押し、ディスプレイ下部左に「リサイズ」を表示させる。

●すでに「**リサイズ**」が表示されているときは、必要ありません。

2 表示範囲を指定する。

●画像サイズによっては、表示範囲を指定できない場合もあります。

データ管理

画像を拡大縮小するとき

1 ◎（リサイズ）を押し、ディスプレイ下部左に「移動」を表示させる。

●すでに「移動」が表示されているときは、必要ありません。

2 ◎（拡大）または◎（縮小）を押し続けて、サイズを変更する

4 Ⓕ（決定）を押す。

5 Ⓕ（登録）を押す。

サイズ変更した画像は、新しい画像としてデータフォルダに登録されます。また、登録日時のファイル名がつきます。

■ 登録しない：◎（戻る）

サイズを自由に変更する

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「画像サイズ修正」を選び、Ⓕを押す。

●「画像サイズ修正」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 「7自由切出」を選び、Ⓕを押す。

画像が表示されます。（「＋」表示）

3 「＋」を切り出す部分の左上に移動する。

4 Ⓕを押したあと、「＋」を切り出す部分の右下に移動する。

■ 左上の指定からやり直す：◎（戻る）

5 ⓥ（完了）を押す。

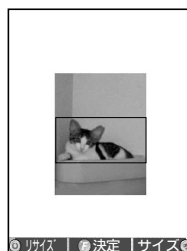
■ 画像サイズの選択からやり直す：ⓥ（サイズ）

■ 以降の操作：☞P.11-25の操作３以降

6 Ⓕ（決定）を押す。

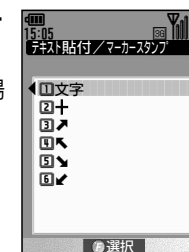
7 Ⓕ（登録）を押す。

サイズ変更した画像は、新しい画像としてデータフォルダに登録されます。また、登録日時のファイル名がつきます。

■ 登録しない：◎（戻る）

画像にマーカー／文字を入力する

●メールへの添付時につけることもできます。（☞P.3-9）

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「テキスト貼付／マーカースタンプ」を選び、Ⓕを押す。

●「テキスト貼付／マーカースタンプ」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 文字を入力するとき

1「1文字」を選び、Ⓕを押す。

2 文字を入力（☞P.4-6〜P.4-15）し、Ⓕを押す。

●最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

●バーコード読み取り機能は働きません。また、絵文字は入力できません。

■ 文字の入力し直し：ⓥ（メニュー）➡「1文字」選択➡Ⓕ➡文字修正➡Ⓕ

マーカーを付けるとき

マーカーの種類を選び、Ⓕを押す。

マーカーが付いた画像が表示されます。

■ マーカーの変更：ⓥ（メニュー）➡マーカー種類選択➡Ⓕ

3 文字またはマーカーを付けたい位置に移動し、Ⓕを押す。

確認画面が表示されます。

4 「1YES」を選び、Ⓕを押す。

確認メッセージが表示されます。

■ 文字やマーカーの追加：操作４のあと「2 マーキング」選択➡Ⓕ➡ⓥ➡操作２～４

■ 画像の確認：操作４のあと「3画像確認」選択➡Ⓕ

■ 編集の取消：操作４のあと「4編集キャンセル」選択➡Ⓕ➡「1YES」選択➡Ⓕ

5 「1編集完了」を選び、Ⓕを押す。

確認画面が表示されます。

6 「1YES」を選び、Ⓕを押す。

マーカーをつけた画像は、新しい画像としてデータフォルダに登録されます。また、登録日時のファイル名がつきます。

画像を装飾する

画像の色あいやタッチを変更できます。

- 画像装飾に利用できる画像は、JPEG形式です。連写画像も装飾できます。
- 装飾可能な画像サイズは、横52×縦52ドット～横240×縦320ドットです。
  これ以上のサイズの画像を装飾すると、画像の中心を基準に横240×縦320ドット部分のみ抜き出し、装飾されます。（画像サイズも変更されます。）
- 画像サイズが縦51ドットまたは横51ドット以下のときは、装飾できません。

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「画像加工」を選び、Ⓕを押す。

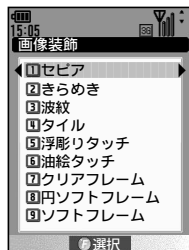
- 「画像加工」が選択できない画像の場合、操作できません。

連写画像を装飾するとき

- 「連写画像装飾」を選び、Ⓕを押します。このあと操作３に進みます。
- 連写画像の場合、連写画像内のすべての画像が装飾されます。連写画像内の１枚の画像のみを装飾する場合は、個別の画像として登　してから操作してください。

2「1画像装飾」を選び、Ⓕを押す。

- 次の装飾が行えます。

1セピア	セピア色で濃淡を表現
2きらめき	光輝部を十字に輝かせる効果を表現
3波紋	輪の形にひろがる波の効果を表現
4タイル	周りにタイル調の効果を表現
5浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
6油絵タッチ	ルノワール風油絵タッチ
7クリアフレーム	周りに透明なふちを描くフレーム調
8円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
9ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
0ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

3 装飾の種類を選び、Ⓕを押す。

装飾された画像が表示されます。

■ 装飾のやり直し：◎（戻る）

4 Ⓕ（登録）を押す。

装飾された画像は、新しい画像としてデータフォルダに保存されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

- 画像を装飾すると、画像データサイズが大きく変わってしまい、VGSメールに添付して送信したとき、相手機種によっては受信できないことがあります。
- 装飾された画像によっては、装飾後の画像データサイズが大きくなりすぎて、登　できないことがあります。

顔写真を加工する

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに変えるなど、加工して楽しめます。（フェイスアレンジ）

- フェイスアレンジに利用できる画像は、JPEG形式です。
- フェイスアレンジには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている画像を使用してください。
- フェイスアレンジは、あらかじめ設定されている顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工を施します。そのため、画像内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。
  また、次のような画像の場合、うまく加工できないこともあります。
  ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「画像加工」を選び、Ⓕを押す。

- 「画像加工」が選択できない画像の場合、操作できません。

2「2フェイスアレンジ」を選び、Ⓕを押す。

- 次のアレンジが行えます。

1右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔
2左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔
3微笑む	目、口が微笑んでいる顔
4怒る	目、口が怒っている顔
5悲しむ	目、口が悲しんでいる顔
6パッチリ目	パッチリ目を合成
7炎	炎の目を合成
8なみだ	なみだ目を合成
9伯爵	めがねとひげを合成
0カチン	怒りマークを合成

3 アレンジの種類を選び、Ⓕを押す。

アレンジされた画像が表示されます。

■ あらかじめ設定されている顔パーツの位置や大きさを確認：
「✽顔抽出確認」選択➡Ⓕ
▪ フェイスアレンジ選択画面に戻る：◎（戻る）
■ フェイスアレンジのメニューに戻る：◎（戻る）

4 アレンジ後の画像を登録するときは、Ⓕを押す。

アレンジされた画像は、新しい画像としてデータフォルダに保存されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

- 画像に応じてご自分で、顔パーツの位置や大きさを指定して加工することもできます。（☞P.11-30）
- フェイスアレンジを行った画像をVGSメールに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

あらかじめ設定されている顔パーツの位置が、加工する画像の顔とずれているときなどは、ご自分で顔パーツの位置や大きさを指定できます。

- 顔パーツは画像ごとに指定して登　します。
- P.11-29の操作２のあと、次の操作を行います。

1「顔抽出確認」を選び、Ⓕを押す。

処理中の確認メッセージが表示されたあと、現在設定されている顔パーツが表示されます。

2 （修正）を押す。

顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 顔の輪郭を指定する。

で顔の輪郭の左上に「＋」を移動　　で顔の輪郭の右下に「＋」を移動　　顔の輪郭の位置が指定完了

■ 指定のやり直し：（戻る）

4 操作３と同様の操作で、右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを、画面上部のガイドに従い、指定する。

右目の位置を指定

左目の位置を指定

口の位置を指定

5 指定が終わると、（完了）を押す。

指定した顔パーツがすべて表示されます。

■ 顔パーツの指定のやり直し：P.11-30の操作２からやり直す
■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：（リセット）

6 Ⓕを押す。

新規登　の確認画面が表示されます。

7「1YES」を選び、Ⓕを押す。

指定した顔パーツを付加した画像が、新しい画像としてデータフォルダに登　され、フェイスアレンジの画面に戻ります。

- このあと、新規登　した画像を使ってフェイスアレンジを行うと、指定した顔パーツで画像を加工できます。

画像にフレームを付ける

フレームを付けられる画像は、JPEG形式です。連写画像も利用できます。

1 メニュー画面（P.11-23）で、「画像加工」を選び、Ⓕを押す。

- 「画像加工」が選択できない画像の場合、操作できません。

連写画像にフレームを付けるとき

- 「連写フレーム」を選びⒻを押します。このあと、操作３へ進みます。
- 連写画像の場合、連写画像内のすべての画像にフレームが付きます。連写画像内の１枚の画像のみにフレームを付ける場合は、個別の画像として登　してから操作してください。

2「3フレーム」を選び、Ⓕを押す。

■ フレームの確認：確認するフレーム選択➡（表示）
　▪ フレーム選択画面に戻る：（戻る）

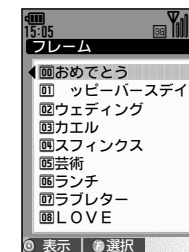
15:05
フレーム
00おめでとう
01 ッピーバースデイ
02ウェディング
03カエル
04スフィンクス
05芸術
06ランチ
07ラブレター
08ＬＯＶＥ
表示　選択

3 利用するフレームを選び、Ⓕを押す。

フレームが付いた画像が表示されます。

■ フレームのメニューに戻る：（戻る）

4 Ⓕを押す。

フレームを付けた画像は、新しい画像としてデータフォルダに登　されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

画像にムービングフォトフレームを付ける

画像と内蔵のムービングフォトフレームを組み合わせて、アニメーションを作成することができます。
- ●ムービングフォトフレームを利用できる画像は、JPEGファイルとPNGファイルです。
- ●作成したアニメーションは、「**E-アニメータ**」(.NVA)形式で登　されます。
- ●ムービングフォトフレームを付けることができる画像サイズは、横120×縦130ドットです。これ以上のサイズの画像のときは、画像の中心を基準に横120×縦130ドット部分のみ抜き出し、ムービングフォトフレームを付けます。

1 **Ⓕ④⑧の順に押す。**

2 **「⑤ムービングフォトフレーム」を選び、Ⓕを押す。**
- ●データ内容によっては、ムービングフォトフレームが付けられないことがあります。

3 **データフォルダからムービングフォトフレームを付ける画像を選び、Ⓕを押す。**

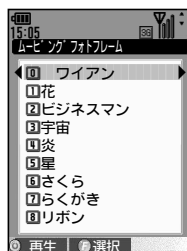
4 **利用するムービングフォトフレームを選び、Ⓕを押す。**
処理中の確認メッセージが表示されたあと、選んだ画像とムービングフォトフレームを組み合わせたアニメーションが表示されます。

■ ムービングフォトフレームの確認：確認するムービングフォトフレーム選択➡◎(**再生**)

▪ムービングフォトフレーム選択画面に戻る：◎(**戻る**)

5 **アニメーションを登録するときは、Ⓕを押す。**
■ 登　の取消：◎(**取消**)➡ムービングフォトフレーム選択

6 **Ⓕ(登録)を押す。**
データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。

注意
- ●ムービングフォトフレームで作成したファイル(.NVA)は、V801SH/V601SH/J-SH53/J-SH52/J-SH51および、J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機以外の機種に添付送信しても、ファイルを展開することができません。また、J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機に添付送信した場合でも、背景の画像などが正しく表示しない場合があります。

画像を回転する

画像を90度単位(時計回り)で回転します。

1 **メニュー画面(☞P.11-23)で、「画像加工」を選び、Ⓕを押す。**
- ●「**画像加工**」が選択できない画像の場合、操作できません。

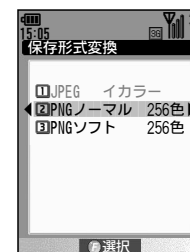
2 **「⑥90度回転」を選び、Ⓕを押す。**
時計回りで90度回転した画像が表示されます。
- ●このあと㋹(**回転**)を押すと、さらに時計回りで90度回転します。

3 **Ⓕを押す。**
回転した画像は、新しい画像としてデータフォルダに登　されます。また、登　日時のファイル名がつきます。
■ 登　中止：◎(**戻る**)

画像の保存形式を変換する

JPEG形式のファイルをPNG形式(ノーマル/ソフト)に変換したり、PNG形式(ノーマル/ソフト)のファイルをJPEG形式に変換します。
- ●画像の保存形式の変換は、JPEGファイル(「」表示)とPNGファイル(「」表示)のみ行えます。

1 **メニュー画面(☞P.11-23)で、「保存形式変換」を選び、Ⓕを押す。**
- ●「**保存形式変換**」が選択できない画像の場合、操作できません。
- ●変換前と同じ保存形式はグレーで表示され、選択できません。

2 **変換する保存形式を選び、Ⓕを押す。**
保存形式を変換した画像は、新しい画像としてデータフォルダに登　されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

補足
- ●保存形式を変換すると、画像のデータサイズが変わる場合があります。
保存形式を変換したあと、画像のデータサイズが40Kバイトを超えたときは、確認メッセージが表示され、データフォルダの画面に戻ります。
- ●保存形式を変換すると、画質が変わることがあります。

画像／アニメーションを壁紙に登録する

指定した画像やアニメーションを壁紙に登　できます。
●画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「壁紙登録」を選び、Ⓕを押す。
●「壁紙登録」が選択できない画像やアニメーションの場合、操作できません。

2 Ⓕを押す。
表示方法の選択画面が表示されます。項目は次のとおりです。

①センタリング表示	そのままのサイズでディスプレイ中央に表示します。
②並べて表示	そのままのサイズで、同じ画像を並べて表示します。
③全画面表示	ディスプレイサイズいっぱいに拡大して表示します。（画像によっては一部切り取って表示します。）
④拡大表示	横または縦のどちらかが、ディスプレイサイズになるまで拡大します。

■ アニメーション選択時：Ⓕ➡登　完了

3 表示方法を選び、Ⓕを押す。
壁紙に登　（オリジナル①に登　）されます。（壁紙設定が自動的に「**オリジナル**」に設定され、「ON」になります。）

●すでにオリジナル①に画像が登　されている場合は、ここで登　した画像に変更されます。

画像／アニメーションをマイキャラクタに登録する

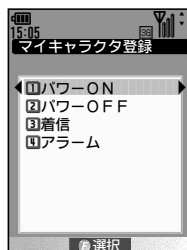
●画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「マイキャラクタ登録」を選び、Ⓕを押す。
●「マイキャラクタ登録」が選択できない画像やアニメーションの場合、操作できません。

2 マイキャラクタを表示する場面を選び、Ⓕを押す。
画像が表示されます。
●E-アニメータ、MNGファイルの画像は、「③着信」、「④アラーム」に利用することはできません。

各画面の画像サイズ

①パワー ON	横120×縦130ドット	③着信	横120×縦38ドット
②パワー OFF	横120×縦130ドット	④アラーム	横120×縦51ドット

●マイキャラクタとして表示されるときは、２倍に拡大して表示されます。

3 画像の表示枠を指定する。
●画像サイズや種類によっては、表示範囲を指定できない場合もあります。

4 Ⓕを押す。
マイキャラクタに登　（オリジナルに登　）されます。（マイキャラクタ設定が自動的に「**オリジナル**」になります。）

●すでにオリジナルに画像が登　されている場合は、ここで登　した画像に変更されます。

連写画像を個別の画像として登録する

連写画像（複数の画像＋分割画像）をそれぞれ個別の画像として登　することができます。また連写画像の内、指定した画像を個別の画像として登　することもできます。
●個別の画像は、新しい画像（JPEGファイル）として登　されます。（元の連写画像はそのまま残っています。）

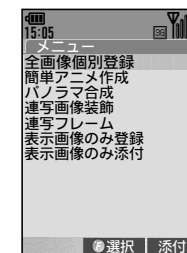
1 データフォルダから連写フォルダを選び、Ⓕを押す。

2 個別の画像として登録する連写画像を選び、Ⓕ（表示）を押す。
連写画像の分割画像が表示されます。
●連写画像には、ファイル名の先頭に「▦」が表示されています。

3 連写画像内のすべての画像を登録するとき

1 Ⓜ（メニュー）を押す。
2「全画像個別登録」を選び、Ⓕを押す。
データフォルダに登　されます。

連写画像内の１枚の画像を登録するとき

1 登録する画像を表示する。
●分割画像も登　できます。
2 Ⓜ（メニュー）を押す。
3「表示画像のみ登録」を選び、Ⓕを押す。
データフォルダに登　されます。

画像の合成

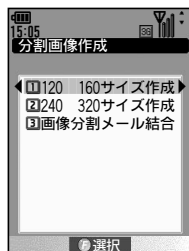
分割画像を作成する

最大４枚の画像を縮小し、１枚の画像内に配置して分割画像を作成します。

分割画像

- 分割画像で利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。連写画像も利用できます。
- あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。不要なファイルを消去するときはP.11-51を参照してください。

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「分割画像作成」を選び、Ⓕを押す。
- 分割画像の左上に配置する画像を選んで操作してください。
- 「分割画像作成」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 「①120×160サイズ作成」または「②240×320サイズ作成」を選び、Ⓕを押す。
- サイズが大きすぎるときは、メニュー画面に戻ります。

3 ファイル名を入力し、Ⓕを押す。
- 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。
- ここで指定した番号順に、分割画像の左上、右上、左下、右下に配置されます。
- ファイル名を入力していないときは、確認メッセージが表示され、次へ進めません。

■ ファイル名の修正：「**ファイル名**」選択➡Ⓕ➡ファイル名修正➡Ⓕ

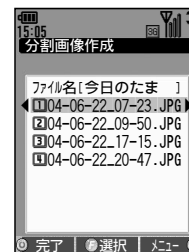
4 指定する番号を選び、Ⓕを押す。
V801SHのデータフォルダのピクチャーフォルダが表示されます。

5 利用する画像を選び、Ⓕを押す。
選んだ画像が表示されます。（利用できない画像は選択できません。）

■ 画像の変更：Ⓥ（**変更**）➡ピクチャーフォルダの画面へ
■ 画像の拡大：スケジュール/メモ➡（「**等倍**」⇔「**２倍**」切り替え）
■ 指定する番号から選び直し：◎（**戻る**）

6 Ⓕを押す。
分割画像用の画像として指定されます。

7 操作４～６をくり返し、画像をすべて指定する。
- 最大４枚まで設定できます。

■ 分割画像の確認：Ⓥ（**メニュー**）➡「①**分割画像表示**」選択➡Ⓕ
 ■ 分割画像作成のメニュー画面に戻る：◎（**戻る**）
■ 画像の変更：変更する画像選択➡Ⓥ（**メニュー**）➡「② **変更**」選択➡Ⓕ➡操作５～６を行う
■ 画像の消去：消去する画像選択➡Ⓥ（**メニュー**）➡「③ **消去**」選択➡Ⓕ➡「①YES」選択➡Ⓕ

8 画像の指定が終われば、◎（完了）を押す。
確認画面が表示されます。

9 「①YES」を選び、Ⓕを押す。
分割画像は、新しい画像としてデータフォルダに登 されます。

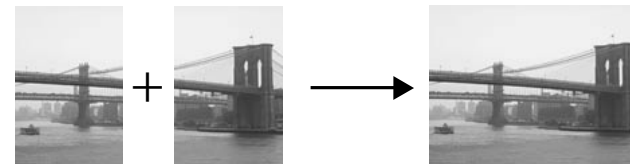
連写画像内の１枚の画像を利用するとき

1. 操作５で、クリア（画像一覧表示のとき）または◎（ファイル名一覧表示のとき）を押したあと、連写フォルダを選びⒻを押す。
2. 連写画像（「」表示）を選び、Ⓕを押す。
 分割画像が表示されます。
3. 利用する画像を選び、Ⓕを押す。
 分割画像用の画像として指定されます。（ファイル名のあとに「1/4」～「4/4」などが付加されます。）
 このあと操作７へ進みます。

■ 分割画像も指定できます。（ファイル名のあとに「田」が付加されます。）

補足
- 120×160サイズ作成のときは、分割エリアの中央に1/2に縮小されて表示されます。240×320サイズ作成のとき元の画像が、４分割された分割エリアに収まるときは、分割エリアの中央にそのまま表示されます。また、４分割された分割エリアより大きい画像の場合は、1/2に縮小され、４分割された分割エリアの中央に配置されます。

２枚の画像をパノラマ合成する

２枚の画像を横に並べて、１枚の画像にできます。

２枚の画像を選択　　パノラマ合成

パノラマ合成時には、画像に応じて次の効果をつけることができます。

標準	パノラマ合成の標準モード。 近距離で撮影した画像、遠距離で撮影した画像のどちらを合成するのにも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。 近距離で撮影した画像を合成するのに適しています。
ドキュメント	説明板などの文字のある画像を合成するのに適しています。

●パノラマ合成に利用できる画像は、横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像です。
●２枚の画像サイズが異なる場合、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成します。
●色味が異なる２枚の画像をパノラマ合成すると、うまく合成されない場合があります。

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「画像加工」を選び、Ⓕを押す。
●パノラマ合成する１枚目の画像を選んで操作してください。
●「画像加工」が選択できない画像の場合、操作できません。

2「5パノラマ合成」を選び、Ⓕを押す。
●画像サイズが大きすぎるときや、小さすぎるときはデータフォルダ画面に戻ります。画像を選び直してください。

3「1標準」～「3ドキュメント」のいずれかを選び、Ⓕを押す。
１枚目の画像として指定されます。

4「2-----------------------」を選び、Ⓕを押す。
V801SHのデータフォルダのピクチャーフォルダが表示されます。

5 合成するもう１枚の画像を選び、Ⓕを押す。
選んだ画像が表示されます。

6 Ⓕを押す。
２枚目の画像として指定されます。
■ 画像の確認：画像選択➡Ⓕ
■パノラマ合成画面に戻る：◎（戻る）
■ 画像の変更：画像選択➡Ⓕ➡㋲（変更）➡画像選択➡Ⓕ➡Ⓕ
■ 効果の変更：「効果」選択➡Ⓕ➡「1標準」～「3ドキュメント」選択➡Ⓕ

7 画像の指定が終わると、◎（完了）を押す。
合成された画像が表示されます。
●◈を押すと、画像が移動し、隠れている部分が表示されます。
■ 画像の左右入れ替え：㋲（入替）

8 Ⓕを押す。
合成した画像は、新しい画像としてデータフォルダに登　されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

11 データ管理

分割画像を結合する（画像分割メール）

画像分割メールに添付されてきた画像の１つを指定することで、４枚の画像を自動的に結合することができます。

1 ◎3の順に押す。

2 フォルダを選択して、Ⓕを押す。

3 結合する画像を１つ選択して、Ⓕを押す。

4 ㋲（メニュー）を押す。

5「分割画像作成」を選び、Ⓕを押す。
●「画像分割作成」が選択できない画像の場合、操作はできません。

6「3画像分割メール結合」を選び、Ⓕを押す。
●分割画像の数が足りないときや、ファイル名を基準に収集したファイルの形式が正しくないときは、確認画面が表示され、データフォルダ画面に戻ります。

7 Ⓕを押す。
新しい画像としてデータフォルダに登　されます。

●受信した画像のファイル名を変更すると、正しく結合できない場合があります。
●画像分割メールで送受信した画像の場合、結合した画像は多少粗くなることがあります。
●画像分割メールを受信すると、４通分のメール料金がかかります。

11 データ管理